

	市の概要		地域協議会					
	人口 財政力指数	面積 平成の大合併	名称 設立の背景	数・単位・平均人口 活動拠点	設立方法 設立状況	財源	主な事業	特徴・課題
池田市 (大阪府)	約10万 0.83 (172位)	面積:約22km ² (小牧の3分の1) 無	【地域コミュニティ推進協議会】 ・地方分権の推進 ・財政難 ・自治会加入率の低下(約40%) ※既存コミュニティの崩壊	11地区(小学校区) 1地区平均:約9千人 既存施設の活用(会館など)	H19から手上げ方式 ※半年で全地区設立	■予算提案権 (約7,000万円:市民税の1%) ・1地区:600~700万円(人口割) ・1人あたり平均:約700円 ・基金条例を制定。(残予算積立て可能) ・大規模事業の提案は、積立てて実施。 ・各課で予算計上(交付金) ■事務費交付金 :上限10万円(各地区)	・防犯カメラ設置事業 ・街路灯設置、管理事業 ・公園バスケットゴール設置事業 ・校庭芝生化事業 ・安全パトロール事業 ・高齢者等配食事業 ■地域計画の策定 ■広報誌の発行 ※ハード事業含む	■特徴 自治会への公的支援がなく、自治会加入率も低い状況であったことから小牧市のように地域行政が十分に行われていなかったという背景がある。そのため、自治会を補完する役割として協議会の必要性が理解された。よって、全地域での設立が早かったと思われる。 ■課題 ・無関心市民が多くなっている。 ・協議会の認知度が低い。一部の人達が税金の使途を決めているという声がある。
東近江市 (滋賀県)	約12万 0.66 (345位)	面積:約389km ² (小牧の約6倍) 有	【まちづくり協議会】 ・合併 (H17年:1市4町新設合併) (H18年:2町編入)	14地区(合併前の地域) 1地区平均:約8千5百人 既存のコミュニティセンター ※まちづくり協議会への指定管理を検討中。	H17から手上げ方式 ※17、18年度の2年間で全地区設立	■交付金 (約1,900万円) ・1地区平均:約135万円(均等割50万+人口割:1人100円) ・1人あたり平均:約160円 ■公募提案補助金 (年700万円) ・協議会枠あり H23:27事業 ・1地区上限70万円(3事業まで)	・公園管理事業 ・命のバトン事業 ・プレーパーク事業 ・イベント開催 ・世代間交流事業 ■まちづくり計画書の策定 ■協議会代表者会議の開催 ■広報誌の発行	■特徴 自治会役員が毎年交代する状況であったため発展的な活動を期待することができなかった。よって、協議会の中心は、やる気のある市民活動団体となった。 ■課題 ・自治会と協議会に確執が生じている。 ・人材不足 ・協議会の認知度が低い。
高浜市 (愛知県)	約4万5千 0.97 (70位)	面積:約13km ² (小牧の5分の1) 無	【まちづくり協議会】 ・将来的な構造改革(合併・財政難など)	5地区(小学校区) 1地区平均:約9千人 JA合併による支店等の空き店舗(無償譲渡・賃貸) ※1地区のみ新築	H16から手上げ方式 ※H16からH21の6年間で全地区設立	■地域内分権推進事業交付金 (約3,500万円) ・1地区平均:約700万円 ・1人あたり平均:約780円 ■事務局人件費 (約900万円) ・1地区平均:180万円 ■施設の指定管理 (1650万円) ・1地区平均:330万円 ※人件費、光熱水費等 ■市民予算枠事業交付金 (約1億1,100万円) ・1地区平均:1,550万円 ※個人市民税の5% ※子供医療費無料化含む:約3,350万	・防災訓練 ・防犯パトロール ・クリーンアップ事業 ・各種講座開催 ・喫茶事業 ■協議会の拠点施設の管理運営 ■広報誌の発行	■特徴 ・協議会=地域分権の担い手のイメージで、将来に向け新しい取組を実施し、自治会や老人会の取組を補完する組織として設立したが、当初は、市民に理解されなかった。よって、5地区であるが、全地区設立までに6年かかった。 ■課題 ・人材不足 ・協議会の認知度が低い。
名張市 (三重県)	約8万 0.73 (273位)	面積:約130km ² (小牧の約2倍) 無	【地域づくり組織】 ・行財政改革 ・財政難 (H14年:財政非常事態宣言)	15地区(概ね小学校区) 1地区平均:約5千3百人 既存の地区公民館 ※小学校区単位で公民館有 ※1地区のみ新築	H15から各種補助金を一括交付金にシフトし、当該年度に14地域設立。 H22に最後の1地域で全地区設立	■ゆめづくり地域交付金 (約7,300万円) ・1地区平均:約490万円 ・1人あたり平均:約910円 ※既存の各種補助金を一括交付金へシフト ※交付金額は、年々減少 ■事務局経費 :30万円(各地区)	・イベント開催、資源ごみ回収事業 ・高齢者の生活支援事業(コミュニティバス運行・家事・庭管理など) ・公園に水道、ベンチ、テーブル設置 ・防災器具購入 ・防犯灯設置、管理事業 ・喫茶事業 ■地域ビジョンを策定 ■地域づくり代表者会議の開催 ■広報誌の発行 ※ハード事業含む	■特徴 財政非常事態宣言により財政状況を市民に理解してもらった。その上で、区や老人会への各種補助金・委託料などを廃止し、一括交付金にシフトした。よって、1地区を除いて初年度に一斉に協議会が設立された。しかし、当初は、地域が混乱した。 ■課題 ・財源の確保 ・人材不足 ・各協議会の活動に差が生じている。
菊川市 (静岡県)	約4万5千 0.72 (283位)	面積:約94km ² (小牧の約1.5倍) 有	【コミュニティ協議会】 ・合併 (H17年:2町新設合併)	11地区(概ね小学校区) 1地区平均:約4千人 既存の地区センター ※小学校区単位で地区センター有 ※市の臨時職員が貸館業務を行っている。	H18から手上げ方式 ※H18からH22の4年間で全地区設立	■1%地域づくり活動交付金 (約1,200万円:市民税の1%) ・1地区限度額:100万円 ※1地区のみ200万円 ・1人あたり平均:約270円	・防災訓練 ・各種スポーツ大会 ・地区センターまつり ・各種講座開催 ■広報誌の発行 ■事務局長会議 (月1回)	■特徴 自治会で行っていただいていたイベントなどを効率的に行うという「イベント型」からスタートした。将来的には、自治会を補完する地域活動の担い手になることを目標としている。 ■課題 ・「課題解決型」へどう発展させるか。 ・一部地域で市民活動団体を中心に設立した地域があり、自治会と確執が生じている。

《参考》小牧市の概要

- ・人口:約15万人
- ・面積:約62km²
- ・財政力指数:1.18(13位)